

公益社団法人日野市シルバー人材センター
平成 31 年度（2019 年度）事業計画

I 平成 30 年度の状況

平成30年度は、平成30年6月20日開催の第69回定時総会において監事1名が改選され、新たな役員体制でスタートしました。取り組みとしては、適正就業による就業機会の拡大と会員の増強を重要課題として事業を推進しました。

適正就業の推進によって、新たに公共の事業である小学校事務の業務が労働者派遣契約に切り替わるなど、労働者派遣事業は都内58のシルバー人材センターにおいて、29年度から連続して受託件数が1、2を争うほどの実績を残すことができ、請負と合わせて事業は順調でした。

次に、会員数については、平成 26 年度末の 1,521 人を底として平成 27 年度から徐々に回復していますが、平成 30 年度末は平成 29 年度とほぼ同じとなりました。そのような状況の中、女性会員は女性限定入会案内説明会の開催など増強への取り組みが功を奏し、増加となりました。

これからも就業先の確保に努め、さらなる会員増強を図り、地域貢献を目指すセンターとして、高齢社会における重要な役割を果たしてまいります。

II 基本方針

公益社団法人日野市シルバー人材センターは、その前身である日野市高齢者事業団の発足（1979年（昭和54年）2月16日）から40周年の佳節を迎えました。

センターはこれまで同様、会員の知識・経験を活かし、就業並びに社会奉仕活動を通じて活力ある地域社会づくりに寄与すべく、次の基本方針のもと事業計画を策定しました。

- 1 基本理念の一層の理解と浸透に努め、組織の発展と強化を図る。
- 2 高齢者に適した就業機会を拡大し、社会参加を促進する。
- 3 PR活動を積極的に展開し、事業の認知度向上および会員の増強を図る。
- 4 会員相互の交流を促進するとともに、地域活動の活性化と充実を図る。
- 5 就業および組織活動における安全管理を強化する。

III 事業実施計画

1 基本理念の理解、浸透と組織の発展・強化

センター事業の遂行にあたっては、「共働・共助」の基本理念を具現し、会員

として連帯意識を強固にすることによって、会員と理事、事務局が情報を共有し、一体となって運営することが大変重要です。センター運営の両輪である「組織活動」、「就業活動」において、いっそう緊密な連携強化を図ります。

2 就業機会の拡大と提供

(1) 既存事業の拡大

日野市との連携により更なる理解と支援を得て、シルバー派遣事業を主とした公共事業の就業機会の拡大に取り組みます。また、市内事業所、一般家庭への就業開拓体制を大幅に強化して、就業機会を拡大します。

(2) 新規事業開拓への取組み

会員アンケート調査の結果、就業先および職種の多様化を求める声が圧倒的に多いことが明らかになりました。それらの要求に応えるために、新たな事業や就業先開拓に取り組みます。

- ア 介護予防・新総合事業の拡大
- イ シニア向け事業（家庭向け事業、独自事業）の新たな仕事の開拓
- ウ 人材派遣事業の就業先開拓体制強化による拡大
介護施設、保育施設、スーパーマーケット、生産ラインの仕事など

(3) 女性会員の就業機会の拡大

女性会員を増やすために、女性会員が魅力を感じ、就業しやすい仕事を増やします。

- ア 家事援助事業の拡大
- イ 手芸品製作販売事業の育成
- ウ 上記(2)新規事業開拓
- エ 事務系仕事の開拓

(4) 適正就業および人材派遣事業の推進

2016年7月に開始した人材派遣事業は、適正就業（法令遵守）の観点から受注できなかった仕事を中心にして、順調に受注実績を伸ばしており、都下58センターの中で受注金額、受注件数ともに指折りの実績となりました。引き続き、積極的な活動を展開します。

(5) 高齢会員が就業できる仕事の開拓

会員アンケートの集計結果によると、何歳まで働きたいかの問いに、「働ける限り」と答えた人が33.3%にのぼり、これに「75歳」以上「85歳」までの回答

を単純に加えると、85%にもなり、多くの会員が働き続けることに強い意欲を持っていることが明らかになりました。会員ニーズに応えるため、高齢会員が就業できる事業分野の就業先開拓や事業の開拓に取り組みます。（（2）参照）

3 PR活動の拡充と会員増強

(1) PR活動の積極的な展開

様々な媒体を通じシルバー人材センターを宣伝周知し、就業の拡大と会員増強に努めます。

- ア 「広報ひの」に広告を掲載
- イ 日野市のホームページにバナー広告を掲載
- ウ 日野市役所本庁舎市民窓口課および七生支所のテレビモニターに会員募集と仕事請負（派遣事業を含む）の広告を掲載
- エ 会員募集と仕事請負（派遣事業を含む）の広告を印刷した封筒を市内郵便局のATMに備え付ける

(2) 入会者を増やす対策の強化

入会者を増やすための対策を強化します。

- ア 会員募集チラシ全戸配布（年間2回）
- イ 女性限定入会案内説明会の開催（年間4回）
- ウ シルバーいきいき祭りの開催、まちづくり市民フェア等への出展
- エ その他各種PR活動

(3) 会員交流促進と組織活動の強化

会員アンケート調査によれば、「センターに入会して、どんな点が一番よかったですか」の問いに、「友人や仲間ができた」等、会員の交流を挙げた会員が、42.5%に達しています。現役を退いた高齢者にとって、会員交流は、センターの魅力を増す大事な要素であることから、次の会員交流を進めます。また会員向けの情報発信を充実させ、組織活動の強化に努めます。

- ア 女性会員交流会
- イ 就業会員交流会・会議（職種別、職場別）
- ウ 地域班のイベント開催など
- エ 会員情報誌「月刊さわやか」の充実
- オ シルバーいきいき祭りの開催

4 地域活動の充実

(1) 社会奉仕活動の多様化

社会奉仕活動の積極的な展開と多様化に努めます。

- ア 小学校防犯パトロール
- イ 小・中学校でのあいさつ運動の実施
- ウ 東京マラソン祭りでのボランティア
- エ 高齢者見守り支援
- オ 市内他団体との交流

(2) 市内美化運動

市内美化のための清掃を実施します。

- ア 多摩川・浅川クリーン作戦（4月）
- イ 全地域班一斉清掃（7月、10月）
- ウ 公園、駅周辺、道路清掃

(3) 地域班組織の活性化

会員アンケート調査によれば、地域班会議のあり方について、抜本的な見直しを求める声が多数ありました。寄せられた声に向き合い、具体的な改善策を提示し、実行します。

- ア 地域組織の機能見直しなどによる再構築
- イ 地域班会議の内容充実

5 安全就業

(1) 事故発生件数を減らすための取組み

「安全はすべてに優先する」をモットーに、就業途上および就業中の安全確保に努めます。事故件数のさらなる減少を目指して下記を実施します。

- ア 職場の安全巡回の実施
- イ 危険予知講習会、作業機械等取扱い講習会の開催
- ウ 安全就業基準自己チェックの実施

(2) 交通安全等の対策

就業途上の事故撲滅を目指して、自転車運転および高齢者ドライバー対象の交通安全教室を開催します。また、定時総会を利用して、日野警察署による生活の安全を守るための講話を実施します。

(3) 安全意識の醸成

就業期限確認書を交付する際に、安全管理委員長の安全講話を行い、就業に

おける事故の未然防止と安全就業への意識向上に努めます。また、会員の体力と健康への過信を防ぐために、下記を実施します。

- ア 就業会員向け「体力測定会」の実施
- イ 健康診断受診等に関する情報の提供

【各委員会の取り組み】

○総務委員会

1. 民間職場の就業期限導入の準備

就業選考の新運用方法が平成 31 年 1 月から導入され、平成 30 年後期地域班会議において担当理事による説明、11 月には会員向けの説明会を 2 回開催しました。これを足場として民間職場へも就業期限を導入する機運が開かれたと思われれますので準備作業に入ります。具体的には

- ①導入までのスケジュール
- ②発注者へ説明
- ③就業者へ説明

2. 新入会員の研修テキストの改定

新選考基準をはじめとし、その他変更内容をテキストに織り込み新入会員へ常に最新の情報の提供に務めます。

3. 規程・要綱等の整備

常に変化する社会情勢に連動するシルバー人材センターであるために各種規程・要綱をタイムリーに整備し内容を充実させていきます。

○事業委員会

1. 月次実績、就業応募状況の分析

実績を前年対比し、契約額増減を確認します。

就業応募状況確認、継続募集の結果、相手先充足、就業条件に難点があり応募なし等の追跡調査を行います。会員就業募集伝達方法の改善検討。

2. 新規事業開拓に向けた取り組み

会員に対し「さわやか」「班会議」等で新規事業提案を求めます。

他 SC の活動を参考にし、出向き調査等を行います。

3. 会員の所有する資格・技能・技術を活用した新規事業の検討

様々な有資格会員毎のグループ懇談会を開催し、それを活用した新規事業の可能性について意見交換します。事業立上についても検討します。

4. 職群事業の運営支援

職群班支援、清掃グループ就業者交流会を開催し、会員に休業時サポート体制の理解と協力体制構築についての協力を求めます。清掃紹介ガイドブック作成。包丁研ぎ、大工仕事、網戸修理班、パソコン班等支援他の職群班との協力関係構築が大切であり、対立を避ける対話が必要です。

5. 職場グループ交流会開催

明るい雰囲気での就業の場、不安のない働きやすい就業の場にするため、学校管理、学校事務、自転車放置防止、公共受付管理、公園管理等、交流会を開催します。交流会内容は、就業契約内容確認、就業仲間とのコミュニケーションは良好であるか、就業先との往復の安全確認、会員の相談毎と事務局との関係は良好に保たれているか等について意見交換します。

○地域委員会

1. 「地域組織の運営」に関すること

① 地域組織の活性化

地域班及びブロックが担う役割の再構築と役割の浸透を図ります。

② 地域班会議の内容充実

センターの現況報告を行う重要な場であると同時に、班員の親睦や情報交換等の場です。班会議のテーマを提案します。

2. 「社会奉仕活動」に関すること

① 清掃活動の拡大

クリーン作戦及び一斉清掃を通じ、地域社会の活性化に貢献します。

② 小・中学校「朝の挨拶運動」の拡大

市内全小・中学校に参加し、センターの活動を広くPRします。

③ スクールガードボランティアの協力・要請

学童の登・下校見守り運動、センターの活動を広くPRします。

④ 高齢者見守り支援「気かけ運動」の啓蒙

まずは会員同士、気かけ、声掛け運動を拡大していきます。

○女性委員会

1. 女性会員の増強対策として、女性限定入会案内説明会の工夫

- ・女性限定入会案内説明会(年4回開催)。
- ・シルバー人材センターの内容の理解と身近な存在のアピール。
- ・女性向き仕事の説明、就業体験談を話します。

会場のセッティングを座談会形式に変えて、親睦会のような雰囲気作り。多くの質疑応答が出やすい工夫を試みます。

2. 就業意欲・退会者を防ぐ等の対策

① 女性委員会便りを発行（年3回発行）

30年度は、アンケートで女性委員会便りは参考になるとの回答を得たのを契機に発行回数を2回から3回に増やします。

女性委員会年間スケジュール、講習会の企画、委員会の活動、情報等を掲載。

3. 市民対象講習会、女性会員交流会等を通じて魅力あるセンターをアピール

① 市民対象講習会（主に手作り作品講習会）等

② 女性会員交流会・研修会を開催

③ 日野市健康交流事業に協賛

日野市シルバー人材センターと老人クラブ連合とのコラボレーションで、年1回開催

○安全管理委員会

1. 自転車及びドライバー向けの安全に対する取り組み

- ・ドライバー講習会 飛鳥自動車学校（5月）
- ・自転車安全講習会（日野警察署主催）への参加（4月）

2. 安全対策推進員向け「危険予知講習会」の実施

- ・身の回りに潜む事故要因の意識的発見に取り組みます（6月）

3. 就業会員向け「体力測定会」の実施

- ・会員の健康、体力づくり増進（9月）

4. 安全な使用方法習得のための機械器具講習会

- ・肩掛式刈払機の取扱い講習会（7月）
- ・チェーンソー講習会（2月）

5. 就業現場の安全巡回の実施

- ・前期（6月～7月）
- ・後期（12月～2月）

○広報委員会

1. 対外向け広報を強化

就業拡大と会員増強のため、対外広報を一層強化。新しいセンターPR策に知恵を絞ります。

2. 40周年式典の記念誌刊行

節目の式典の記録であり、対外的にもセンターの存在をアピールするツールにします。

3. 月刊さわやか発行とHPの改良

「さわやか」を会員の情報紙と位置づけ、さらに充実させます。HP 改良にも取り組みます。

4. 市内イベントへの出展

日野市産業まつり、まちづくり市民フェアへの出展を継続。市民にセンターをPRします。